

教育開発支援センター

活用案内

CTL

CTLでは、高等教育に関する様々な書籍をご用意しています。市販の図書に加え、各大学の紀要や報告書等も充実しています。閲覧・貸出は自由ですので、お気軽にお越しください。ご推薦頂ける書籍等も随時受け付けています。CTL（千里山キャンパス第2学舎1号館1階）までお問い合わせください。

新着書籍例(いずれも貸出可能です)

『学生・職員と創る大学教育』

清水亮・橋本勝(編著) (ナカニシヤ出版)

『変貌する世界の大学教授職』

有本章(編著) (玉川大学出版部)

『協同学習入門—基本の理解と51の工夫』

杉江修治(編) (ナカニシヤ出版)

『教育現場の協働性を高めるファシリテーション実践学』

武田正則(著) (学事出版)

『ポートフォリオが日本の大学を変える』

土持ゲーリー法一(著) (東信堂)

『「学びの環境デザイナー」としての学校事務職員』

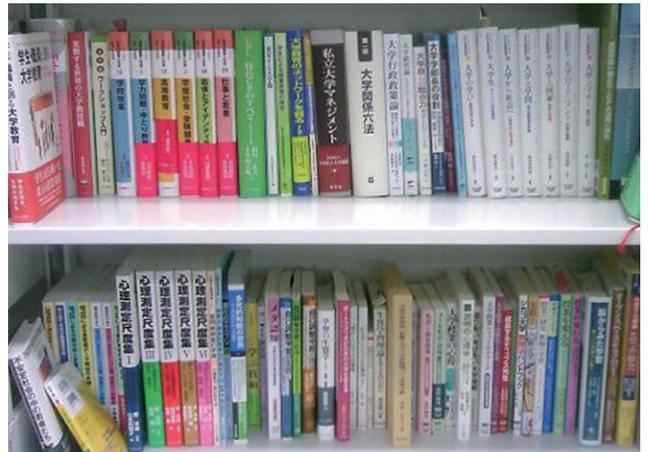
藤原文雄(著) (学事出版)

『フロー体験喜びの現象学』

M.チクセントミハイ(著)、今村浩明(訳) (世界思想社)

『Learning Trajectories, Innovation and Identity for Professional Development』

Anne Mc Kee、Michael Eraut Editors (Springer)



From CTL事務局

11年前、関西大学では初めての本格的な実施となる授業評価アンケートに関わらせていただいた職員一人としてその当時のこと、そして現在所属する教学組織について少し記したいと思います。

本学の授業評価アンケートは、教学方針に基づき平成12年に全学共通教育推進機構の授業評価部門委員会 で検討され、平成13年度から実施されました。当時、他の大学でもほとんど実施されていなかった教育活動でしたが、既に実施していた国公立大学への聞き取りや調査を行い、本学の授業評価アンケートに活かされました。アンケート作成における

過程では、数多くの委員会が開催され、各教学組織を代表する委員により質問項目の一つ一つについて詳細に議論されアンケートに反映されました。他の大学でもほとんど実施されていなかった授業評価アンケートが本学で行われることになる瞬間でした。職員として本学の伝統ある教学の重要な事業に関わらせていただいたことは、職員として誇り高い業務の一つであります。

そのとき以来、職員として久しぶりに関わらせていただくことになった教学組織は大きく変貌していました。教学組織では、新たに教育推進部が設置され、事務組織では、学部事務室機能が改編され教務センター

になり、その変化は国内屈指の伝統ある私立大学の教育のさらなる進化を大いに期待させるものです。その教学組織の中核となる教育推進委員会や教育開発支援センター委員会での議論は、本学の教育の先進性をさらに強く意識させるものとなっています。また新しい教育手法を伸展させるための種々のプロジェクトも立ち上げられ、斬新な取り組みにも挑戦され、まさに考動し、躍動している感があります。その伝統ある本学の教学組織の積極的かつ真摯な改革の取り組みに、職員として関わることで寄与できればと考えています。

(義)